学校番号	C2101

令和５年度　数学科

科目	数学Ｂ	単位数	２	必要Ｓ出席数	２
使用教科書	高校数学Ｂ　新訂版（実教出版）				
副教材等	なし				

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	６通	２	２	２
スクーリング	８回	３	３	２
テスト	２回	○	○	×
課題・実習等	特別課題を与えることがある			

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ｂは、数列と統計的な推測を学びます。数列ではいろいろな数の列について、その性質を学び、統計的な推測では、集めたデータからその特徴を読み取ったり、また、推測する方法について学びます。数列では数学Ｉの指数計算や方程式など、統計的な推測では数学Ａの確率の考え方などが必要になります。

２　学習の到達目標

数列，統計的な推測について，基礎的な知識の習得と技能の習熟をめざす。また，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさが認識できるようになり，またそれらを活用することができるような力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けようとする。	・数列，統計的な推測について，日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ，論理的に考察する力，数理的に考察する力を養う。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

4　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数列	数列と一般項 等差数列 等差数列の和 等比数列	a: 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。 b: 事象から離散的な変化を見出し、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 c: 数列に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとすること。	レポート 定期考査	レポート 定期考査	課題
2	数列およびベクトル	等比数列の和 様々な数列の和 確率 確率変数と確率分布	a:いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。確率変数や確率分布について理解すること。 b: 事象から離散的な変化を見出し、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。確率分布などの特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 c: 数列や統計的な推測に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとすること。	レポート 定期考査	レポート 定期考査	課題
3	ベクトル	確率変数の期待値 確率変数の分散、標準偏差 二項分布	a: 確率変数や確率分布について理解すること。二項分布などの性質や特徴について理解すること。 b: 確率分布などの特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 c: 統計的な推測に関心をもち数学的論拠に基づいて判断しようとすること。	レポート	レポート	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度